

Queen Barbara & Pussy Bat Barbara race

バーバラは 禁断の惑星
プラネット・バーバラに住む
お尻コウモリ族 (Pussy Bat族) の女王

ある朝 女王バーバラは
プッシーバット族を引き連れて
青い地球に 降りたった



女王バーバラがやって来た

バーバラ星の世界観



バーバラ星の中心は
真っ暗な混沌の奈落

その上に海の女神が
治めている海が横たわり

海の底には
海賊のワインが
永遠に湧き上がっている

船は空を駆け巡り
オオクロナガクジラが
時折おなかを見せる

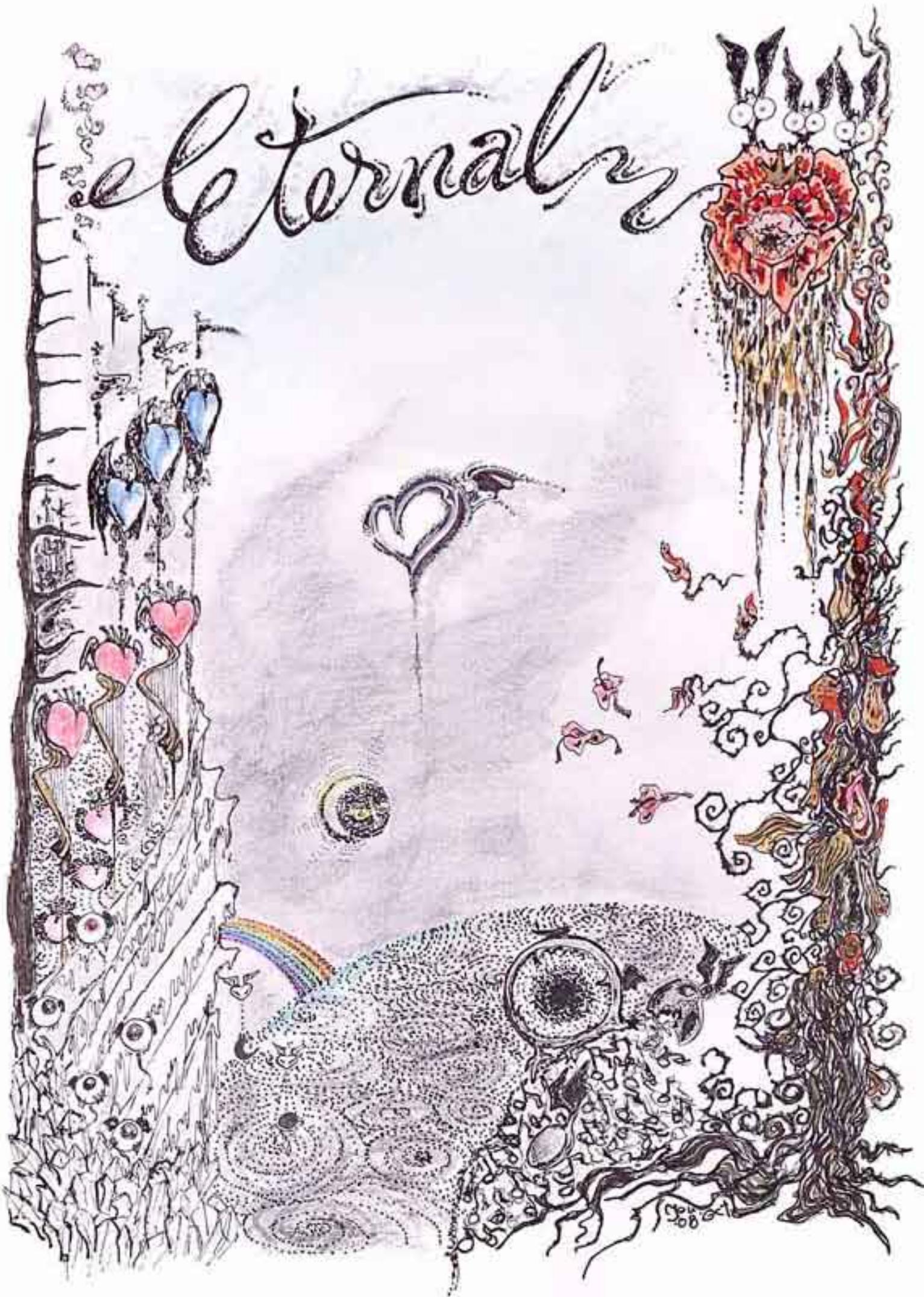
二つの太陽は
毎朝お互いに
引っ張り合いながら
大地を照らし

月は海の底に帰って行く

空の高みでラッパを鳴らし
旗を振り

バーバラ一族を導くのは
伝説の少女
ジャンヌ・ド・バーバラ

Eternal



Eternal Barbara
To become an Eternal Barbara

バーバラ星の裏側

バーバラ星の

バーバラ族が

生まれいずるところ

完全なる性を求めて旅立つ

鳴り響くファンファーレと

ハーブの音に

見送られ

翔び立つ

片翼は

真の両翼のものとなるため

シラー・カムイの階段

エターナル・バーバラになるためには
シラー・カムイの山に登り
頂上から飛び立たねばならない
シラー・カムイに登るものは
片翼をもがれ
代わりに
2本の足を与えられる

使ったことの無い足と
バランスの悪い片翼で
頂上を目指すのは
とても 困難

(その上)
飛び立つまでの階段は
甘〜い香りの
白い雪
うっかり味わっていると
アイスクリームとなり
とろけだす





ファンファーレとハープ

それでも　ようやく
頂上へと　上り詰めたものの足は
木の根のように　動きを止め
瞬く間に　朽ち果てる

そうして　片翼で
光り輝く　未来に向かって　飛翔する

異形のバーバラ



Barbara in Wonderland

プリンセス・ミリー・モリー・メリー・バーバラは
禁じられた部屋の窓から
漆黒の空にひっそりと
でもかなり興奮気味に
飛び立ちました

プリンセス・マリー・バーバラ・ジュニアの
後を追うために

蝙蝠柄の
鉄の格子のついた
窓を
押し開けると

そこには
本当の
漆黒の夜が
広がっていました



時を止める呪文

時を止める方法

『蝙蝠猫の守る大時計の針が キッチリ 真夜中を指す時
長い方の針を13回 逆周りに回してごらん
こんな呪文を唱えながら

Kurokuru Kurarmi (クロクル クラーミ)

Kurokuru Kurarmi (クロクル クラーミ)

Lagnet Gardus Punte (ラグネット ガルダス プンテ)

Lagnet Gardus Punte (ラグネット ガルダス プンテ)

Luna! (ルナ!) 』

針が再び動き出し 13回 回って
最初の位置に戻るまで
バーバラ城の時は止まる
呪文を唱えたものを 解き放ち

プリンセス・マリー・バーバラ・ジュニアは

時計の針を
逆周りに13回
回します

小さな声で
呪文を唱えながら

もちろん
城中の
ものたちには
ないしょです



机の下のベビー・バーバラ

ところが 机の下で もうひとり
バーバラ・ジュニアの あとをたどるように
呪文を くり返すものがいました

城のものたちからは
ベイビー・バーバラと呼ばれている
プリンセス・ミリー・モリー・メリー・バーバラでした

呪文の最期の言葉 『ルナ！』
を プリンセス・バーバラが口ずさんだ時
ベイビー・バーバラは
思わず
机の下から
パッと飛び出し
叫びました

『Luna!』



さあ プリンセス・バーバラは 驚きました
ひとりで 城を抜け出し
冒険に行くつもりだったからです
でも ベイビー・バーバラの 時は止まりません
仕方なく 説き伏せて 城に残るよう
言って効かせることにしました

「いいこと？ ベイビー・ミリー
あなたは まだ 小さいのだから
お城に お残りなさい」

「わかってるわ マリー」

「外には 危険が いっぱいだから
あなたには 無理なの」

「わかってるわ マリー」

「だから 駄目だって 言ってるでしょ」

「だ・か・ら わかってるわ マリー」

「。。。？」

以外と簡単に納得しているベイビー・バーバラに
少し拍子抜けしながらも
とにかく プリンセス・バーバラは ひとり
夜の闇へ
飛び立つことにしました



ラフレシアの秘密

バーバラ星の もう一人の女王 ラフレシア
大きなお口と いばらの手
すらりと伸びた 綺麗な足が ご自慢
豹の毛皮を身に纏い
いばらの館に 住んでいる

「豹の毛皮は 生きている！」

「ラフレシアの魔法で コートにさせられているのさ」



奇妙なラフレシア城

いばらの蔓と

ハエトリソウや

チョウトリスミレ

ホタルユウワクグサに

マタタビツボ

トカゲノツカイ

ユメヒョウタン

カエルノカサに

ワライナス

そんなものが

絡み合い

いばらの館は

出来ている

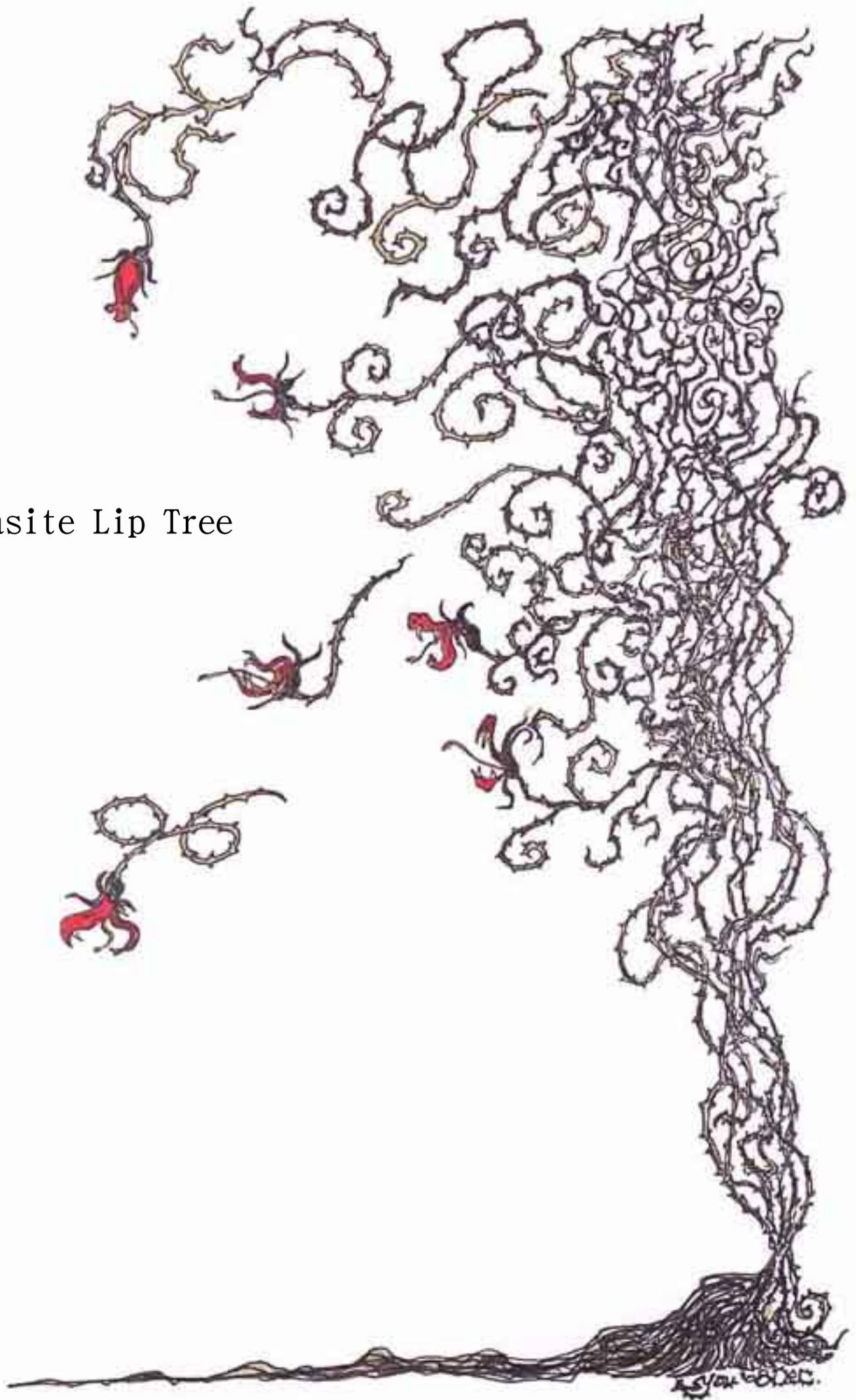


夜のハルピュイア昼のシルフィード

ラフレシアには 3人のお供がいる
ハルピュイアの3姉妹
オキュペテ アエロ セレナ
豊満な胸に 黒い羽毛と黒い翼
ラフレシアが行くところ
いつも 一緒に 付いてくる
それもそのはず
ラフレシアは
ハルピュイア達が運ぶ
いばらのゆりかごで
移動するのだから

風の精の シルフィード
シルフィードは ふたごの姉妹
遙か上方の 空に舞い
いろいろな 風模様を 編む

Parasite Lip Tree



パラサイト・リップと戦うナイト

ラフレシアの放つ

ラッパ花＝ゴシップ・ホーン

勝手な噂を言い放ち

人々を 混乱へ導こうとする

成功したことは ない

かなり迷惑なのが

パラサイト・リップ

いばらの館に絡むいばらから

ふとした拍子に 解き放たれ

バーバラ族に 絡み付く

ナイト達も

手を焼いている



辺境国王女カーミラ

Princess Carmira Mirarca Leon i Carmira

且つて バーバラ星が
バーバラ星と
名乗っていなかった頃の
王族の 末裔
黒いダイヤモンドの冠は
カーミラー族の
謁見の場での
正装

カーミラ家には
代々
受け継がれている
数々の 古文書や
言伝えが ある



楽師は冒険家

楽師は 冒険家

湖に いろいろな月の影を 採りに行くから
バーバラ星の音符は 月の影で
出来ている

満月の夜には 長〜い全音符

凧いだ夜には 心地よい ビブラート

朔の夜には 無音の音色

風の夜には 歪んだ16分音符や32分音符を いっぱい

嵐の夜は 命懸けの大冒険

雨雲の隙間に

一瞬覗く月の影を

今か今かと待ち伏せて

大きなスプーンで

すくいます

でも 本当に貴重な音は

ノーツ・ピッカーに

依頼して

すくってもらいます

ノーツ・ピッカーは

湖のほとりの林に住む

少し変わった一族

音を見分ける

目が あるのです



Quattro Muse de la musica
4人の音楽の女神＝ミューズ

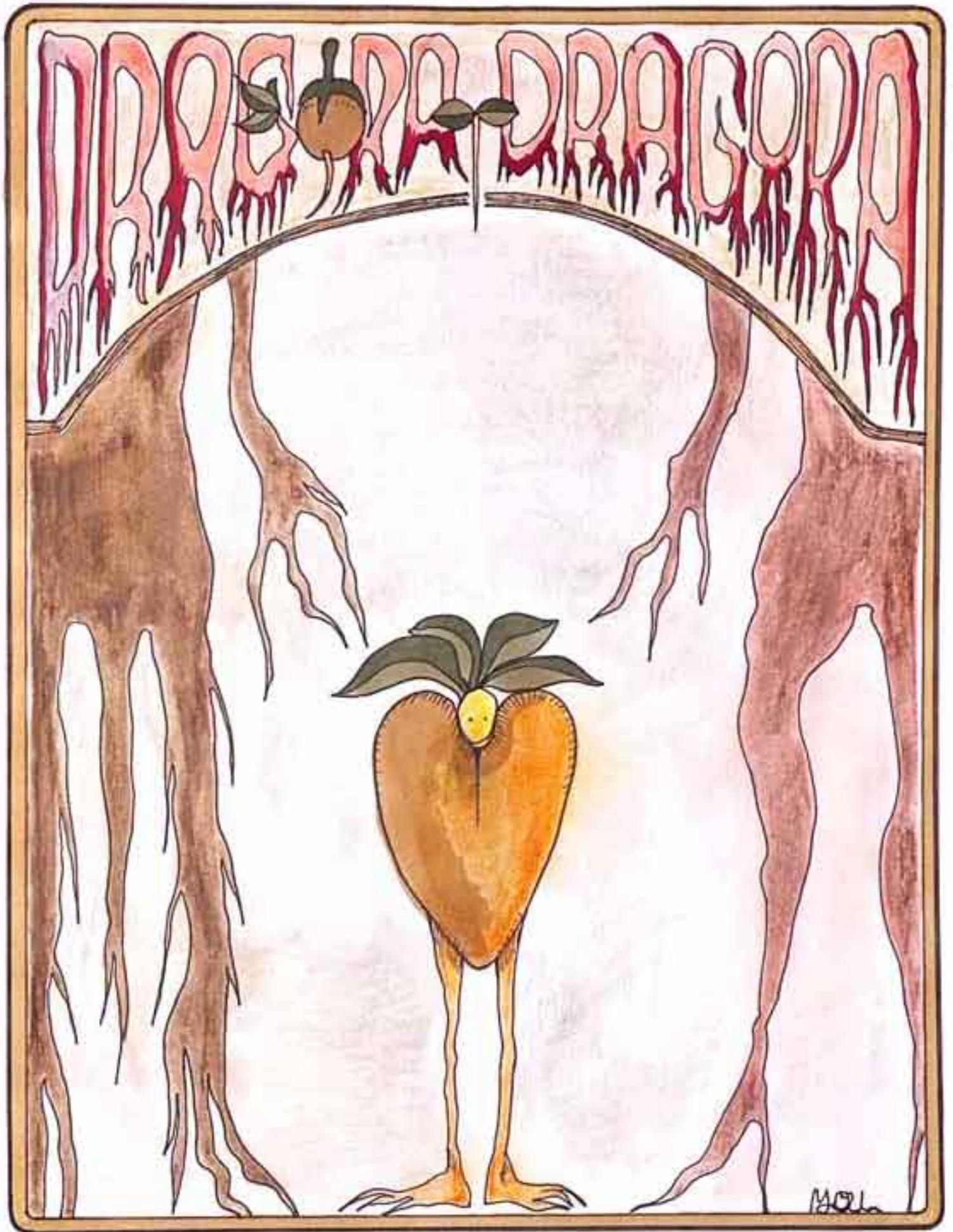
バーバラ星の 音楽を司るミューズ
ミューズは 4人の 女神

愛の歌の アモーラ
叙事詩の エピカ
星語りの アストロ
歌と踊りの バレリノ



ドラゴラ・ドラゴラの伝説

～伝説～カーミラ家に伝わる～DRAGORA DRAGORA



むかしむかし

まだ 星が 青い蒼い石に覆われていた頃

根っこが3本生えた男と

根っこが2本生えた女がいた

男の名は Man Dragora (マン・ドラゴラ)

女の名は Wo Man Dragora (ウー・マン・ドラゴラ)

男と女に

ひとりの子供が出来た

子供には 足が生えていた

でも 子供は 男でも女でもなかった

男と女は 不愉快に思ったが

根っこの生えた男と女に

足の生えた子供は

どうすることも出来ない

そこで 旅に出すことにした

子供の名は Dragora Dragora (ドラゴラ・ドラゴラ)

ドラゴラ・ドラゴラは

旅の途中で ライオンに出会った

ライオンは ドラゴラ・ドラゴラを

いきなり頭から食べてしまった

ところが ライオンは

ドラゴラ・ドラゴラを飲み込むや否や

ひどい 胸やけに襲われ

ドラゴラ・ドラゴラを 吐き出した

吐き出された

ドラゴラ・ドラゴラの頭は なくなり

かわりに 赤く 丸みを帯びた木の实のような体になった

途中で 蝙蝠に出会った
蝙蝠は ドラゴラ・ドラゴラを
木の実と間違え かぶりついた
ドラゴラ・ドラゴラは
泣き叫び 痛みを訴えた
蝙蝠は 間違いに気づき
ドラゴラ・ドラゴラに謝った

孤独だった蝙蝠は ドラゴラ・ドラゴラに
友達になって暮らすことを条件に
自分が死んだら 自分の翼を 与えることを約束した

長い月日が流れ 蝙蝠は
ついに最後の日を幸せに迎えた
ドラゴラ・ドラゴラは 約束どおり
蝙蝠の翼をもらった

だが ドラゴラ・ドラゴラは
男でも 女でも ないままだった

やがて 翼をもらったドラゴラ・ドラゴラも
死んだ

29と半日 雨が降り続いた後の晴れた日

ドラゴラ・ドラゴラの芽

ドラゴラ・ドラゴラが死んだ丘から
1本の新芽が出た

新芽は 見る見る大きくなり 大木となった
大木の枝には 小さな赤い桃のような実が生った
赤い桃のような実は 少し大きくなると
その背中に 黒い翼が生えて 飛び立った

カーミラ家に伝わる伝説は
現在では 間違った伝承であるとされている

カーミラ家では 今でも
その祖先に関わりの深い
ライオンと
蝙蝠を

紋章としている



episode 1. Eater Lunch = the Bad Child Gang

音盗人 夢盗人 時盗人

バーバラ星の湖を見下ろす 小高い丘に巣食う
バーバラ星のギャング=イーター・ランチャー味
自称『悪い子団』

Score Eater

スコア・イーターは 音盗人
地上もあらゆる音を 貪欲に求め
食しては 吐き出す
スコア・イーターの 体内を通った音は

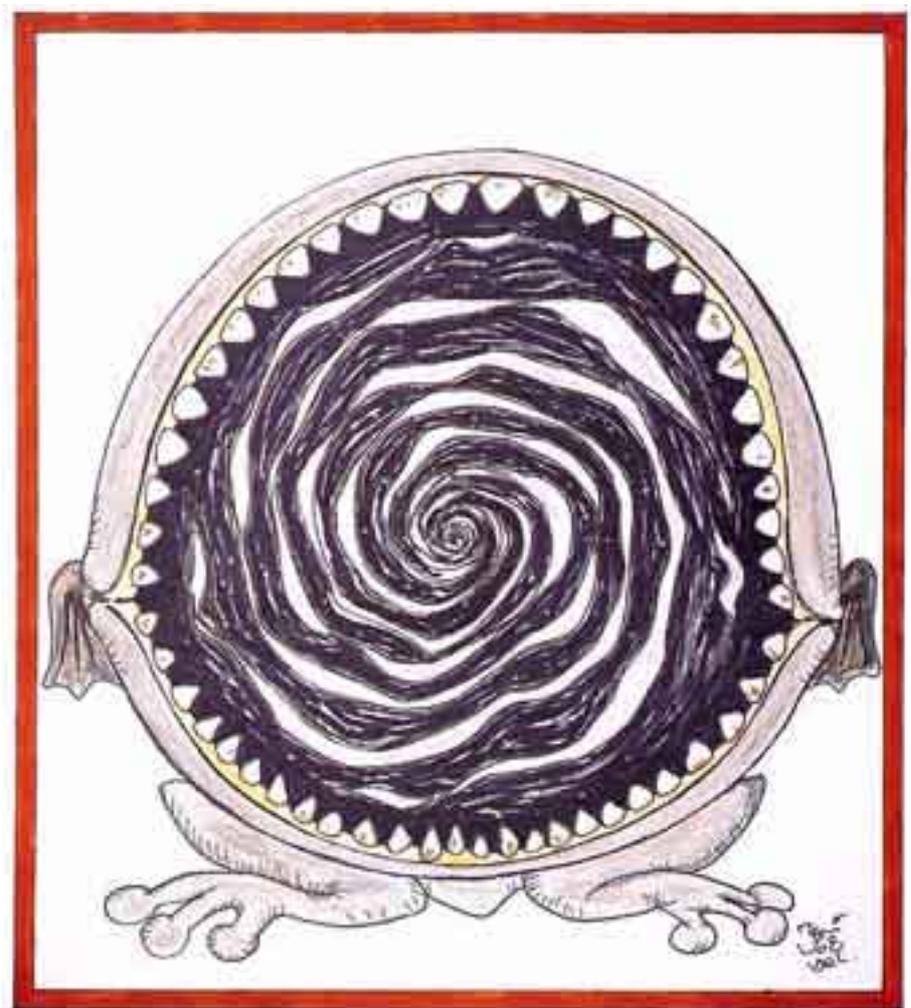
世にも奇妙
摩訶不思議な

音楽となる



Dream Eater

ドリーム・イーターは 夢盗人
大きな口を ボーッと開けたまま
丘の頂上に 立ち尽くす
世の中の 良い夢 悪い夢
悲しい夢を
受け止めるままに 受け止め
飲み干すままに 飲み干す
そののどの奥は
無限の空間に 繋がっている



Time Eater

タイム・イーターは 時盗人にして
『悪い子団』の リーダー
空中に 不用意に浮遊している
支離滅裂 キレギレの時間を
はさみに似た口で 寸断し
新しい時間に 組み立てる
無彩色の空間が
虹色の時間へと
移り変わる



Color Eater

最近 『悪い子団』に 新しいメンバーが増えた
カラー・イーター



カラー・イーターは 色盗人
お魚のしっぽと
アヒルの水かきが生えている
小さな口の中には
キャンディ・カラーが 溢れている
横に置いておくと 幸せになれる
だから カラー・イーターそのものが
よく 盗まれる

BAUM DES LEBENS

バーバラ族は
すべて
バーバラ星の
裏側にある
生命の樹から
生まれます
まるで
樹になる桃のように



バーバラ族は
年を追うごとに
どんどん大きくなる
死ぬまで
大きくなるだから
バーバラ星で 一番大きいのは
先の女王ホーリー・バーバラ様

生命の樹は バーバラ星の栄養を 長い年月をかけて
吸い取った

かつては地表にまで溢れるほどあった
「予言の青い石」アズライトや
バーバラ族を 邪悪なものから守るとされている
守護石 サファイアも生命の樹に吸い取られ
透明に輝く クリスタルマウンテンになった

バーバラ族は
生命の樹の存続と
種そのものの存続のため
バーバラ星を あとにし
地球へと飛び立った